

欧州自動車産業ニュース

No. 948

2024年9月20日号

商用車見本市IAA開幕

世界41カ国から1700社・機関が出展

中国製EVへの関税上乘せ、スペインが反対に方針転換

ボッシュとピレリ、
インテリジェントなタイヤ技術の開発で協力

シンビオとライトバス、燃料電池バスの開発で協力

© European Community

※ PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

中国製EVへの関税上乗せ、スペインが反対に方針転換.....	4
欧州委、中国EVメーカーの妥協案を拒否	4
商用車見本市IAA、世界41カ国から1700社・機関が出展	5
EU新車販売、8月は18.3%減	6

企業情報

自動車メーカー

ボルボ・グループ、AI駆動の米トラック運送会社に出資	9
独オペルの新型「グランドランド」、持続可能な新コンセプトを体現.....	9

部品メーカー

EKPO、スタックモジュール「NM20」を発表＝IAA	10
仏ヴァレオ、IAAで商用車向けソリューションを紹介	10
独ヘラーの高電圧パワーボックス、27年から量産開始	11
タタ製鉄と英政府、ポート・タルボット製鉄所近代化で5億ポンドの助成金契約.....	11

クローズアップ

エスタフェット・コンセプト	12
---------------------	----

欧州自動車短信

上海蔚来汽車(NIO)、GKNエアロスペース など	13
---------------------------------	----

一般・その他

EU競争力強化、年8千億ユーロの追加投資必要＝報告書.....	14
米巨大IT2社との重大訴訟、EUの勝訴が確定.....	15
グーグルがAIモデル開発でEUデータ保護規則違反か、当局が調査開始	15
アルメニア人旅行者のビザ免除、同国と欧州委が協議開始.....	16

テクノロジー・トレンド

ボッシュとピレリ、インテリジェントなタイヤ技術の開発で協力	17
シンビオとライトバス、燃料電池バスの開発プロジェクトで協力	17

目で見える欧州自動車産業ニュース

欧州連合(EU)、乗用車新車登録:2024年8月 燃料別.....	18～19
-----------------------------------	-------

企業名索引.....16

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

中国製 EV への関税上乘せ、スペインが反対に方針転換

スペインのサンチェス首相は 11 日、欧州連合（EU）による中国製電気自動車（EV）への関税上乘せに反対する意向を表明した、同問題をめぐり、EU 加盟国を分断させようとする中国の作戦が効果を発揮し始めた格好だ。

これまでスペインは、中国製 EV への関税上乘せに賛成していた。しかし、サンチェス首相は訪問先の中国で出席したイベントでの演説で、貿易戦争を避けるため、同国と他の EU 加盟国、欧州委員会は同問題について「再考」し、中国との話し合いで解決すべきとの見解を表明。スペインが話し合いの橋渡し役となる用意があることを明らかにした。

中国政府は欧州委が 6 月、中国に拠点を置く EV メーカーが不当な公的補助を受け、安値で EU に輸出していると暫定認定し、中国製 EV への関税上乘せを発表してから、EU 産の豚肉、乳製品、ブランドーへの反ダンピング（不当廉売）または反補助金調査を開始した。EU 加盟国が 10 月末までに EV への追加関税の可否を採決するのを前に、加盟国に揺さぶりをかける狙いがある。

採決では、加盟国の人口に応じて票数を割り当てる特定多数決制度が採用され、承認を取り付けるためには加盟国の 55%（15 カ国）以上が賛成し、しかも賛成国の人口が EU 人口の 65% 以上を占める必要がある。

スペインにとって豚肉は主要な輸出品目。中国が昨年にスペインから輸入した豚肉製品は 15 億ドル相当で、EU 産では最も多い。中国は豚肉を対象とする対抗措置によって、人口が多く、採決で大きな影響力を持つスペインの方針転換を引き出したことになる。

EU ではフランス、イタリアなどが中国 EV への追加関税を強く支持しているが、自動車大国のドイツは中国の制裁措置発動を恐れて反対する姿勢。このほかフィンランド、スウェーデンなども難色を示しており、採決は予断を許さない情勢となってきた。

ブルームバーグ通信は 13 日、消息筋の情報として、EU が採決を 9 月 25 日に実施すると報じた。

<AI22226>

欧州委、中国 EV メーカーの妥協案を拒否

欧州委員会は 12 日、中国製電気自動車（EV）への関税上乘せ問題で、中国の一部の EV メーカーが追加関税を避けるため提案した妥協案を拒否したことを明らかにした。

欧州委は妥協案の詳細を公表していないが、欧州連合（EU）に輸出する EV に最低価格を設けるという内容。欧州委の報道官は、EU は内容を検証したが、追加関税発動を撤回するための要件を満たしていないと判断し、拒否したと述べた。

ただ、今後も問題解決に向けた話し合いに応じるとしている。

<AI22227>

商用車見本市 IAA、世界 41 カ国から約 1700 社・機関が出席

ドイツのハノーバーで 17 日、商用車見本市「IAA トランスポーターション」(開催日: 9 月 17 ~ 22 日、プレスデー: 9 月 16 日) が開幕した。今回は世界 41 カ国から約 1,700 社・機関が出席しており、前回 (2022 年) 比で 21% 増加した。国外からの出展者の割合も全体の 72.3% と、前回 (2022 年: 61.8%) を大幅に上回った。世界・見本市初公開は 145 件を超える。17 ~ 20 日に開催される IAA 会議では、80 を超えるセッションが開催される予定。

今回の見本市のモットーは「People and Goods on the Move」。主な出展内容は、電気、水素などの代替駆動技術、自動運転技術やコネクテッド・モビリティ・ソリューション、充電インフラ、人工知能 (AI) の活用と課題、バッテリーセルの製造、ラストワンマイル (最寄りの集配センターから最終的な配達先までの最後の配達区間) の配送におけるカーゴバイクの利用などとなっている。

このほかには、20 社以上が参加する試乗 (テスト・ドライブ) 機会の提供もある。週末 (9 月 21 ~ 22 日) には、家族連れをターゲットにしたイベントや、公共機関やトラックのドライバーを対象にした割引料金なども用意している。



写真:ドイツのフォルカー・ヴィッシング連邦デジタル・交通相(右)、
独自動車工業会(VDA)のヒルデガルト・ミュラー会長(左)
出所: IAA TRANSPORTATION

<AI22228>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し
日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000~3,000ユーロから



EU 新車販売、8月は18.3%減

欧州自動車工業会（ACEA）は19日、欧州連合（EU）の2024年8月の乗用車新車販売（新車登録）が64万3,637台となり、前年同月に比べ18.3%減少したと発表した。1～8月の累計は、前年同期比1.4%増の718万492台だった。

8月の主要国の登録台数は、ドイツ（27.8%減）、フランス（24.3%減）、イタリア（13.4%減）が2ケタの減少率となり、スペイン（6.5%減）も前年同月を下回った。

燃料別では、電気自動車が前年同月比43.9%減の9万2,627台と大幅な減少となり、市場シェアを14.4%（前年同月：21%）に縮小した。電気自動車の販売減少は4カ月連続となる。主要国のドイツ（68.8%減）とフランス（33.1%減）で販売が大きく落ち込んでいる。

プラグインハイブリッド車も前年同月比22.3%減の4万5,590台と振るわず、市場シェアは7.1%（前年同月：7.4%）となった。

ハイブリッド車は、前年同月比6.6%増の20万1,552台と、前年同月を上回った。市場シェアは31.3%（前年同月：24%）に拡大している。

ガソリン車は前年同月比17.1%減の21万3,057台、ディーゼル車も前年同月比26.4%減の7万2,177台と、2ケタの減少率だった。ガソリン車とディーゼル車を合わせた市場シェアは44.3%に縮小している（前年同月：45.1%）。

■ EU 31カ国、8月は16.5%減

ACEAによると、EU27カ国にアイスランド、ノルウェー、スイスおよび英国を加えた欧州31カ国の8月の新車登録は75万5,717台となり、前年同月に比べ16.5%減少した。1～8月の累計は、前年同期比1.7%増の866万1,401台だった。

（7～8頁の表参照、
燃料別のグラフは【目で見る欧州自動車産業ニュース】18～19頁に掲載）

ヨーロッパで ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

新車登録：国別動向

国	2024年	前年同月比 (%)	2024年	前年同期比 (%)
	8月		1～8月	
オーストリア	17,115	-8.9	171,129	5.0
ベルギー	29,333	-20.3	324,892	-3.3
ブルガリア	2,938	-14.0	29,883	22.5
クロアチア	3,341	-4.6	48,551	12.0
キプロス	812	10.3	10,963	8.9
チェコ	17,084	-8.7	153,755	2.3
デンマーク	12,854	-5.1	110,733	1.5
エストニア	1,681	-4.9	13,702	-12.8
フィンランド	6,548	-16.3	50,899	-16.7
フランス	85,977	-24.3	1,126,900	-0.5
ドイツ	197,322	-27.8	1,907,226	-0.3
ギリシャ	8,149	-21.4	98,374	5.7
ハンガリー	8,111	-9.4	79,976	8.2
アイルランド	7,544	-8.7	112,140	-0.9
イタリア	69,161	-13.4	1,080,726	3.8
ラトビア	1,408	-13.9	11,527	-15.4
リトアニア	2,098	-6.8	19,588	1.2
ルクセンブルク	2,911	-14.7	32,297	-5.3
マルタ	619	5.5	5,357	3.4
オランダ	27,623	-0.4	248,648	-3.2
ポーランド	37,071	2.5	357,170	14.8
ポルトガル	11,822	-9.4	142,789	2.5
ルーマニア	9,972	-22.6	106,534	8.0
スロバキア	7,107	-5.1	60,971	0.0
スロベニア	3,678	13.5	36,544	6.5
スペイン	52,322	-6.5	671,551	4.5
スウェーデン	19,036	-20.3	167,667	-7.8
EU合計	643,637	-18.3	7,180,492	1.4
アイスランド	464	-60.2	7,651	-39.8
ノルウェー	11,114	0.3	78,828	-7.4
スイス	15,927	-16.1	155,575	-3.6
EFTA	27,505	-11.9	242,054	-6.6
英国	84,575	-1.3	1,238,855	5.1
EU+EFTA+UK	755,717	-16.5	8,661,401	1.7

出所：各国自工会；ACEA

新車登録：メーカー別動向（EU）

	8月				1～8月			
	シェア(%) ⁽¹⁾		台数 2024年	変動率 24/23(%)	シェア(%) ⁽¹⁾		台数 2024年	変動率 24/23(%)
	2024年	2023年			2024年	2023年		
VW グループ	27.8	26.7	179,041	-14.8	26.4	26.4	1,895,390	1.6
フォルクスワーゲン	11.2	11.2	71,841	-18.8	10.8	11.1	777,225	-0.8
シュコダ	6.9	5.6	44,424	0.2	5.9	5.5	427,180	10.7
アウディ	5.3	5.5	34,241	-20.9	4.9	5.5	351,229	-9.0
セアト	2.1	1.8	13,590	-4.3	2.2	2.1	160,159	7.7
クプラ	1.7	1.9	10,730	-27.8	1.7	1.5	120,603	11.8
ポルシェ	0.6	0.6	3,865	-13.7	0.8	0.7	54,612	13.1
その他(2)	0.1	0.1	350	-16.1	0.1	0.1	4,382	-6.7
ステランティス	14.4	16.7	92,667	-29.5	17.5	18.3	1,254,421	-3.2
プジョー	5.0	4.9	32,052	-16.3	5.3	5.7	383,876	-4.5
シトロエン	2.1	3.1	13,793	-43.2	3.4	3.2	243,850	7.5
オペル/ボクスール	3.5	3.5	22,344	-19.2	3.3	3.4	236,446	-2.8
フィアット(アバルトを含む)	2.0	3.2	12,604	-49.3	3.1	3.5	221,712	-9.2
ジープ	1.0	1.0	6,667	-15.4	1.1	1.1	82,515	4.2
ランチア/クライスラー	0.2	0.3	1,376	-44.9	0.4	0.4	29,060	-2.5
アルファロメオ	0.3	0.3	1,710	-27.7	0.4	0.5	28,159	-11.7
DS	0.3	0.4	1,850	-42.9	0.4	0.5	25,244	-23.4
その他 ⁽³⁾	0.0	0.1	271	-32.3	0.0	0.1	3,559	-33.3
ルノー・グループ	10.0	9.5	64,392	-13.9	10.7	10.9	770,196	0.0
ルノー	5.0	4.8	32,227	-15.6	5.7	5.9	406,003	-2.5
ダチア	5.0	4.6	32,041	-11.9	5.0	5.0	361,630	2.8
アルピーヌ	0.0	0.0	124	-31.9	0.0	0.0	2,563	22.0
現代グループ	8.8	8.4	56,450	-14.5	8.0	8.5	575,181	-4.3
現代	4.4	4.3	28,121	-17.9	4.1	4.1	293,504	0.8
起亜	4.4	4.0	28,329	-10.8	3.9	4.4	281,677	-9.1
トヨタ・グループ	8.5	7.2	54,539	-4.3	8.0	6.9	571,574	17.9
トヨタ	7.8	6.8	50,404	-6.1	7.5	6.5	535,214	16.9
レクサス	0.6	0.4	4,135	25.5	0.5	0.4	36,360	33.7
BMWグループ	7.3	7.1	46,963	-15.6	6.5	6.6	466,473	-0.3
BMW	6.3	5.8	40,659	-10.6	5.7	5.4	406,620	7.1
ミニ	1.0	1.3	6,304	-38.0	0.8	1.2	59,853	-32.1
メルセデスベンツ	5.8	5.4	37,464	-12.7	5.1	5.3	365,023	-3.1
メルセデス	5.8	5.0	37,428	-4.9	4.9	5.1	354,103	-1.3
スマート	0.0	0.4	36	-99.0	0.2	0.3	10,920	-39.1
フォード	3.2	3.3	20,532	-20.8	2.9	3.5	210,351	-15.8
ボルボ	2.5	1.6	16,113	28.6	2.7	2.0	192,365	37.8
テスラ	2.4	3.5	15,534	-43.2	2.1	2.5	152,607	-14.9
日産	1.3	1.7	8,641	-35.7	1.9	1.8	139,789	8.3
スズキ	1.6	1.5	10,436	-10.0	1.7	1.4	121,922	22.7
上海汽車集団 (SAIC MOTOR)	1.3	1.5	8,308	-27.5	1.4	1.2	102,924	18.1
マツダ	1.3	1.3	8,308	-19.7	1.3	1.3	93,714	-1.8
ジャガー・ランドローバー	0.6	0.7	4,099	-27.1	0.6	0.7	43,961	-4.9
ランドローバー	0.6	0.6	3,836	-20.6	0.6	0.6	39,755	1.3
ジャガー	0.0	0.1	263	-66.6	0.1	0.1	4,206	-39.9
三菱自	0.5	0.4	2,964	-1.6	0.6	0.4	42,219	70.3
ホンダ	0.4	0.3	2,696	-1.5	0.4	0.3	27,237	44.5

(1)ACEA推定値

(2) VWグループ：その他にはベントレー、ブガッティ、ランボルギーニ、MANが含まれる。

(3)ステランティス：その他にはダッジ、マセラティ、RAMが含まれる。

出所：ACEA加盟企業；ACEA

<AI22229>

企業情報

■自動車メーカー■

ボルボ・グループ、AI 駆動の米トラック運送会社に出資

スウェーデンの商用車大手ボルボ・グループは 10 日、傘下のボルボ・グループ・ベンチャーキャピタルを通して人工知能（AI）駆動型のトラック運送事業を手掛ける米 aifleet に出資すると発表した。同社の独自 AI 技術がトラック運送業界の非効率性を改善し、ドライバーの満足度を向上させることが評価された。

2020 年設立の **aifleet** は荷主が荷台全体を利用するフルトラックロード (FTL=貸し切り便) 分野で事業を展開している。この分野の市場規模は 4,000 億ドルに達するが、一方で 50 万社以上の運送業者がひしめく極めて非効率な業界で、ドライバーの稼働率の低さや空車回送の多さが大きな問題となっている。

aifleet が運用する AI 駆動型のフリートは、輸送計画策定ツールと稼働率向上のためのアルゴリズムを活用し、業界平均を 40% 以上上回るドライバーの稼働率を実現している。

ボルボは声明で「aifleetは、イノベーションと持続可能な輸送ソリューションの推進に注力する我々の目標を共有している」と述べた。

<AI22230>

独オペルの新型「グランドランド」、持続可能な新コンセプトを体現

欧州自動車大手ステランティス傘下の独オペルは11日、SUV「グランドランド」の新モデルが二酸化炭素（CO2）削減に向けたコンセプト「グリーンノベーション（Greenovation）」を体現していると発表した。電動モデルの設定をはじめ、リサイクル素材の活用や車体のクロームメッキの不使用などを通じて持続可能性を強化している。

新型「グランドランド」はステランティスのプラットフォーム「STLA ミディアム」をベースにしており、完全電気自動車 (BEV)、ハイブリッド車 (HV)、プラグインハイブリッド車 (PHV) の各タイプが設定される。リチウムイオンバッテリーの容量は最大 98 キロワット時 (kWh) で、1 回の充電で約 700 キロメートルを走行が可能だ。さらに、高効率のヒートポンプを標準装備しており、寒冷時でも航続距離を延ばせるようにしている。

インテリアでは、すべての繊維部品にリサイクル素材を使用しており、ドアパネルやインパネ、センターコンソールには最低 50% 以上のリサイクル素材が使用されている。アルミや鋼材、ポリマー部品にも同様にリサイクル素材が導入されており、合計で 500 キロ以上がリサイクル素材や再生可能原料で置き換えられている。

この新型モデルはオペルの新しいエンブレム「ブリッツ (Blitz)」を採用した初の量産車となる。フロントには、細身のサンバイザーのような照明パーツ「3D バイザー (Vizor)」が取り付けられており、その中央に新エンブレムが配置されている。左右には、LED ヘッドライトを横一列に配置する「エッジライト」技術が統合されている。リアの 3D バイザーには「OPEL」のロゴが赤く点灯するデザインとなっている。

 $\langle \text{AI}22231 \rangle$

■部品メーカー■

EKPO、スタックモジュール「NM20」を発表＝IAA

独エルリングクリンガー（EK）と仏 OP モビリティ（旧プラスチック・オムニウム）による燃料電池スタックの合弁会社 EKPO フューエルセル・テクノロジーズ（以下、EKPO）は16日、ドイツのハノーバーで開催されている商用車見本市「IAA トランスポーターション」（開催日：9月17～22日、プレスデー：9月16日）で、スタックモジュール「NM20」（最大出力400kW）を発表した。「NM20」は現在、プロトタイプ段階にあり、2024年末に最初の顧客に出荷する予定。

「NM20」の開発・商用化は、欧州共通関心の重要プロジェクト（「IPCEI」）の水素関連プログラム「Hy2Tech」の支援対象となっており、ドイツ連邦デジタル・交通省とバーデン・ヴュルテンベルク州政府の資金支援を受けている。

EKPO のスタンドでは、システムインテグレーターの蘭 Zepp.solutions による燃料電池トラック「ヨーロッパ」も展示している。当該トラックは、EKPO のスタックプラットフォーム「NM12 ツイン」を搭載している。航続距離は700キロメートルで、2024年内に市場投入される予定。「NM12 ツイン」は主に、大型商用車など150kW以上の出力が求められる用途向けに開発した製品だが、オフロード車や鉄道、船舶、定置用にも使用することができる。

EKPO は現在、金属製バイポーラプレートなどのスタックコンポーネントに加え、15～400kWの範囲をカバーする4種類のスタックプラットフォーム（「NM5-evo」、「NM12-single」、「NM12-twin」、「NM20」）を製品ポートフォリオに持つ。

<AI22232>

仏ヴァレオ、IAA で商用車向けソリューションを紹介

仏自動車部品大手のヴァレオは9日、今月16-22日に独ハノーバーで開催される国際商用車見本市「IAA トランスポーターション」に参加すると発表した。同社は、長距離輸送から市街地での配達（ラストマイル）、旅客輸送まで幅広く適用可能なソリューションを展示する予定だ。

ヴァレオが得意とするモビリティの電動化分野では、ラストマイル配送用のバンや小型ユーティリティ車両向けに、48ボルト（V）のハイブリッドシステムを紹介する。目玉となるのは、48V電気モーター、自動変速機、予測ソフトウェアを組み込んだ電動バイク向け技術「Cyclee」で、市街地での配達を効率的かつ経済的に、そして持続可能に実現するものだ。これは、電動カーゴバイクや三輪車に適している。

また、中国吉利汽車（Geely）のEVセダン「Zeekr 007」に搭載された高機能照明モジュール「フロント・フェイス」も展示される。同モジュールは1,700個を超えるLEDを組み込んだ2つのデジタルパネルで構成されており、ライティングによるコミュニケーションが可能だ。

このほか、◇第3世代の長距離ライダー（LiDAR）スキャナー製品「SCALA 3」◇ワイパーブレード全体からウォッシャー液を噴射して洗浄力を高めた「アクアブレード（AquaBlade）」◇フロントガラスの内側に組み込まれたドライバース監視システム（DMS）◇電動商用バン向けのインテリジェント暖房システム「FlexHeater」——なども展示される予定だ。

<AI22233>

独ヘラーの高電圧パワーボックス、27年から量産開始

フランスの自動車部品大手フォルヴィア・グループ傘下の独自動車照明・電子部品大手ヘラーは12日、高電圧コンバーターとオンボードチャージャー（OBC）を一体化した高電圧パワーボックス（High Voltage PowerBox）の量産を2027年から開始する計画を明らかにした。

OBCは電気自動車（EV）と電力系統間のインターフェースとして機能し、高電圧コンバーターは400Vまたは800Vの電圧を12Vに変換して車両の電子機器を作動させる役割を持つ。この2つの重要な部品を1つのシステムに統合することで、1リットル当たり3キロワット（kW）の高い電力密度を実現した。さらに、充放電効率も97%に達し、充電プロセス中のエネルギー損失を大幅に削減している。全体の小型化により、約20～25パーセントの軽量化にも成功している。

高電圧パワーボックスには、高電圧バッテリー管理システム、二次電圧コンバーター、電子ヒューズ、インテリジェント電力分配モジュール（iPDM）など、その他の重要部品も統合できる。

<AI22234>

タタ製鉄と英政府、ポート・タルボット製鉄所近代化で5億ポンドの助成金契約

インドの鉄鋼大手タタ製鉄は11日、英サウスウェールズ州にあるポート・タルボット製鉄所の近代化計画において、英国政府と5億ポンドの助成金契約を結んだと発表した。この契約により、最先端の電気炉の迅速な導入が可能になる。同計画への投資総額は12億5,000万ポンドに達し、これはイギリスの鉄鋼業界に対する過去数十年で最大規模の投資となる。

タタ製鉄によると、電気炉導入のためのエンジニアリング作業はすでに完了しており、間もなく電気アーク炉（EAF）、取鍋精錬炉（LF）、熱間圧延機向けの新しいコイルボックスの発注を行う予定だ。2025年7月の工事着工と、現在から3年以内のEAF稼働開始を目指している。完成後、この製鉄所での二酸化炭素（CO2）排出量は90%削減され、英国の産業界全体でも8%の削減が見込まれている。

ポート・タルボット製鉄所では、現行の高炉が寿命を迎えつつあるため、電気炉への転換が計画された。これに合わせて、電気炉で使う鉄スクラップの国内調達を進めることで経済循環性を高め、サウスウェールズ州におけるグリーンテクノロジーの産業エコシステムの構築を促進する狙いがある。

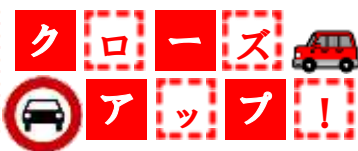
<AI22235>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください





エスタフェット・コンセプト

エスタフェット・コンセプト

(Renault Estafette Concept)

仏自動車大手のルノーがドイツのハノーバーで開催されている商用車見本市「IAA トランスポートーション」（開催日：9月17～22日、プレスデー：9月16日）で発表した電気小型商用車（LCV）のコンセプトカー。都市部の物流業務向けに設計されており、コンパクトな設計を特徴とする。コネクテッド機能を持つ持続可能な配送サービスの実現を目指している。2年以内の量産化を予定している。

このコンセプトカーは、電気 LCV の合弁会社 Flexis に出資するパートナーであるスウェーデン商用車大手のボルボ・グループ、仏物流大手の CMA CGM グループと協力して開発したプラットフォーム「FlexEVan electric」を使用している。

また、ソフトウェア定義型車両（SDV）アーキテクチャを活用しており、予測メンテナンスなどの管理機能により、全体として運用コストを約 30%削減することができる。

職業ドライバーからのフィードバックに基づいて設計されており、コンパクトでありながら広いスペースを確保しており、荷物の積み下ろしを迅速に行うことができる設計となっている。



Renault Estafette Concept

出所: Renault

欧州自動車短信

■ ノルウェーの燃料別の乗用車保有台数で初めて、電気自動車がガソリン車を上回った。ノルウェー道路交通情報評議会(OFV)によると、2024年9月16日時点の同国の乗用車保有台数(約287万台)のうち、電気自動車は75万4,303台(市場シェア:26.26%)で、ガソリン車の75万3,905台(市場シェア:26.24%)を上回っている。なお、最も多いのは、ディーゼル車の99万9,715台(市場シェア:34.80%)となっている。OFVでは、電気自動車がガソリン車を上回った理由について、新車登録の大部分が電気自動車となっていることに加え、クラシックカーなど車の愛好家が夏の間だけ登録し、秋になると再び登録を抹消する車両が多いことが影響していると分析している。16日時点のプラグインハイブリッド車の保有台数は約21万台、ハイブリッド車は約15万6,000台となっている。

■ 中国の電気自動車メーカー**上海蔚来汽車(NIO)**が、ベルギーにあるアウディのブリュッセル工場の買収に関心を示しているもようだ。ベルギーの『De Tijd』紙が報じたもので、NIOは同報道についてコメントを控えている。同紙によると、NIOは買収提案の準備を進めており、近く、アウディに同提案を提示する可能性がある。アウディのブリュッセル工場では、電気自動車「Q8 e トロン」シリーズを生産している。アウディは7月初め、同シリーズの受注急減を受け、ブリュッセル工場の再建を検討する意向を発表。適切な再建案が見つからなければ、工場を閉鎖する可能性も示唆していた。ブリュッセル工場には、従業員約3,000人が勤務している。

■ 英エンジニアリング大手GKN傘下の航空宇宙関連会社**GKNエアロスペース**は17日、スウェーデンのトロルヘッタンにある航空機エンジン工場を5,000平方メートル拡張すると発表した。この新しい生産エリアは2026年にフル稼働する予定。拡張工事は、向こう9年の受注を抱えていることと、今後さらに航空機エンジンの需要が拡大すると見込んだ措置。生産能力の増強により、航空機エンジンの需要拡大に対応するとともに、生産工程に新しい自動化、ロボット工学、デジタル技術を導入し、生産性や品質の向上を図る。

<AI22236>

FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな**ビジネスパートナー**を探します

一般・その他

EU 競争力強化、年 8 千億ユーロの追加投資必要＝報告書

イタリアのドラギ前首相（欧州中央銀行の前総裁）は 9 日、欧州委員会に委託されてまとめた欧州連合（EU）の競争力強化に向けた報告書を公表した。技術力で差をつけられている米中に対抗するため、年最大 8,000 億ユーロ（約 126 兆円）の追加投資が必要などと提言している。

ドラギ氏は 400 ページ近くに上る報告書で、EU 経済は低成長が続き、厳しい状況にあるが、環境、デジタル、防衛分野などの競争力を強化しなければ米中に置き去りにされると指摘。競争力強化のため、EU の域内総生産（GDP）の最大 5% に相当する 7,500 ～ 8,000 億ユーロを毎年、追加で投資する必要があるとしている。

同氏が引き合いに出したのは、第二次世界大戦後の欧州諸国の復興を支援した「マーシャルプラン」（正式名称：欧州復興計画）。同計画による拠出は域内 GDP の 1 ～ 2% に相当する規模だったが、EU の現状を考慮すると、これを大きく上回る投資が必要と指摘した。これが実現しないと「EU はゆっくりと苦痛を味わうことになる」と警告している。

追加投資は EU、加盟国と民間が拠出するが、EU が新たに共通財源を確保することや、各国共同プロジェクトの推進に向けて、共同で定期的に借り入れできる仕組みの導入などを提唱した。

このほか、報告書は防衛力の強化、EU の意思決定システムの効率化、競争政策の見直しなどを課題に挙げた。防衛力については、軍需品の 3 分の 2 以上を米国から調達している現状に言及。EU の投資拡大によって域内に有力な軍需企業を誕生させ、域内での調達を増やす必要があると指摘した。

意思決定システムに関しては、税制改正、新規加盟国の受け入れなど重要事項で加盟国の全会一致での承認が求められる現行ルールを調整に時間がかかるとして問題視。加盟国の人口に応じて票数を割り当てる特定多数決制度に切り替え、賛同した加盟国だけで先行して新政策を推進していくのが望ましいとしている。

企業の合併・買収（M&A）などを厳しく制限する競争政策については、通信企業などの M&A の可否をめぐる審査の規制を緩和し、成立しやすくする環境を整備することで、関連業界の統合を進め、対象企業による投資、イノベーション（技術革新）の増強につなげるのが得策と提言した。業界の健全な競争を最優先し、買収に一部事業の売却などを求めるほか、買収を差し止めることもある現在の方針からの転換し、スケールメリットによる競争力強化を促す格好となる。

欧州委員会は新体制が 11 月に発足することになっている。ドラギ氏の報告書は、向こう 5 年間の経済政策策定で参考にしていく方針だ。

<AI22237>

経済活動に大きく影響する

EU の政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう

FBC

米巨大 IT2 社との重大訴訟、EU の勝訴が確定

欧州連合 (EU) の最高裁に当たる EU 司法裁判所は 10 日、欧州委員会から巨額制裁を科された米アップルとグーグルが同決定を不服として提訴した問題で、いずれの案件も欧州委の決定を妥当とする判決を下し、EU の勝訴が確定した。特にアップルのケースは逆転勝訴となる。

欧州委は 2016 年、アイルランド政府による米アップルへの税優遇措置を違法な国家補助と認定し、130 億ユーロの追徴課税を命じた。多国籍企業の誘致に前のめりになっていたアイルランドの税務当局が 03 年から 14 年にかけてアップルに適用していた優遇措置をめぐり、アップルがアイルランドのペーパーカンパニーを通じて製品を仕入れ、世界各地に販売した形にして、法人税が低い同国に米国以外の利益が集中するよう会計処理を行い、税負担を軽減していたことを問題視したもので、当時の EU での追徴額としては過去最大規模だった。

これに対してアイルランド政府とアップルは、決定を不服として EU 司法裁判所に提訴した結果、下級審の一般裁判所はアップルが国家補助の形で特別な税優遇を受けていたことを示すのに必要な「法的基準」を欧州委が提示できなかったとして、原告側の主張を支持し、追徴課税命令を無効とする判決を 20 年に下していた。

これを不服として欧州委が上訴した結果、上級審は原判決を覆し、アップルが不当な優遇措置を受けていたと認定した。

一方、グーグルをめぐっては、欧州委が 17 年、インターネット検索市場での支配的地位を乱用し、買い物検索サービスで自社の商品比較サイトを優先的に表示し、公正な競争を妨げたと判断して、24 億 2,000 万ユーロの制裁金支払いを命じた。競争法違反での制裁としては、当時の最高額だった。

グーグルは欧州委の決定を不服として異議を申し立て、同年に一般裁判所に提訴したが、21 年に敗訴した。上級審でも同社の主張が退けられ、敗訴が確定した。

両案件での制裁を主導した欧州委のベステアー上級副委員長（競争・デジタル政策担当）は 10 日、「欧州の市民と租税の正義にとって大きな勝利だ」とのコメントを発表し、今回の判決を歓迎した。

<AI22238>

グーグルが AI モデル開発で EU データ保護規則違反か、当局が調査開始

アイルランドのデータ保護委員会 (DPC) は 12 日、米グーグルが EU の一般データ保護規則 (GDPR) に違反している疑いがあるとして、調査を開始したことを明らかにした。AI (人工知能) モデル開発に際して、欧州連合 (EU) 域内のユーザーの個人情報を十分に保護しているかどうかを検証する。

今回の GDPR 違反を巡る調査は、アップルの本社がアイルランドの首都ダブリンにあるため、DPC が担う。

DPC が問題視しているのは、AI モデル (収集されたデータを利用して特定のパターンや相関関係を学習するプログラム) の「PaLM (パーム) 2」。グーグルが開発した大規模言語モデルだ。

DPC は同モデルが EU 内のユーザーの個人情報を適正に保護しているかについて、調査を行う。

<AI22239>

アルメニア人旅行者のビザ免除、同国と欧州委が協議開始

欧州委員会は9日、アルメニア人旅行者がEU域内を訪問する際のビザ（査証）取得義務免除に関するアルメニア政府との協議を開始したと発表した。

欧州連合（EU）加盟国は7月の外相理事会で、アルメニアとビザ免除について協議することを承認していた。アルメニア人が短期滞在であればEUの大半の国を含むシェンゲン協定参加国をビザなしで旅行できるようにする。

EUの市民はアルメニアへのビザなし渡航が認められているが、アルメニア人はEUへの旅行でビザ取得が求められる。EUは2014年1月から、アルメニア人のビザ取得の要件を緩和し、取得手数料を軽減し、一部の申請者については手数料を無料としている。協議が妥結すれば、ビザ取得そのものが免除される。

ビザ免除にはアルメニアが汚職撲滅、国境管理強化など必要な基準を満たすことが条件となる。開始された協議は無期限で、EUがすべての基準を満たしたと判断するまで続けられる。実際のビザ免除には、EU加盟国と欧州議会の承認が必要となる。

旧ソ連邦諸国ではモルドバ、ウクライナ、ジョージアなどがEUからビザなし旅行制度の適用を受けている。

<AI22240>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁		
Bosch.....	17	Stellantis／Opel..... 9	
EKPO	10	Symbio	17
Forvia／Hella.....	11	Tata Steel	11
GKN Aerospace	13	Valeo.....	10
NIO.....	13	Volvo Group	9
Pirelli	17	Wrightbus.....	17
Renault	12		



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

ボッシュとピレリ、インテリジェントなタイヤ技術の開発で協力

独自動車部品大手のボッシュと伊タイヤ大手のピレリは 10 日、インテリジェントなタイヤ技術の開発で協力すると発表した。タイヤ内蔵センサーを活用したソフトウェアベースのソリューションおよび機能の開発に取り組む。これにより、運転の安全性や快適性、走行パフォーマンスの向上を目指す。長期的に協力していく方針で、将来的に、ボッシュの MEMS（微小電気機械システム）技術のタイヤ内蔵システムへの活用を視野に入れている。

両社はこれまでに、伊ハイパーカーメーカーのパガーニ・アウトモビリのプロジェクトで協業した経験を持つ。当該プロジェクトでボッシュは、ピレリがパガーニ・アウトモビリに供給するセンサー内蔵タイヤ「サイバー・タイヤ」に合わせて調整した横滑り防止装置（ESC）アプリケーションを開発した。「サイバー・タイヤ」の内蔵センサーが主要データを収集し、リアルタイムで ESP 機器に伝達する仕組み。これにより、より安全で、高レベルのパフォーマンスを備えたオーダーメイドのドライビング体験が実現する。

<AI22241>

シンビオとライトバス、燃料電池バスの開発プロジェクトで協力

英国（北アイルランド）のバスメーカー、ライトバスと燃料電池システムメーカーの仏シンビオは、英ミルブルックで 9 月 4 ～ 5 日に開催されたネットゼロ・コネクテッド自動運転モビリティをテーマにしたフォーラム「Cenex Expo 2024」に、水素燃料電池を搭載した 300 キロワット（kW）の長距離旅客バス（コーチ）を出展した。

このコーチは、2024 年 1 月にスタートした英国政府が資金支援する共同プロジェクトを通して開発した。シンビオが 75kW の燃料電池システム「StackPack」を 4 基、ライトバスに供給し、ライトバスはこれを 1 階建てのコーチに組み込み、300kW のデモ車両を開発した。共同プロジェクトでは、コーチの開発で得た経験をベースに今後、75kW の都市バスを開発する計画もある。

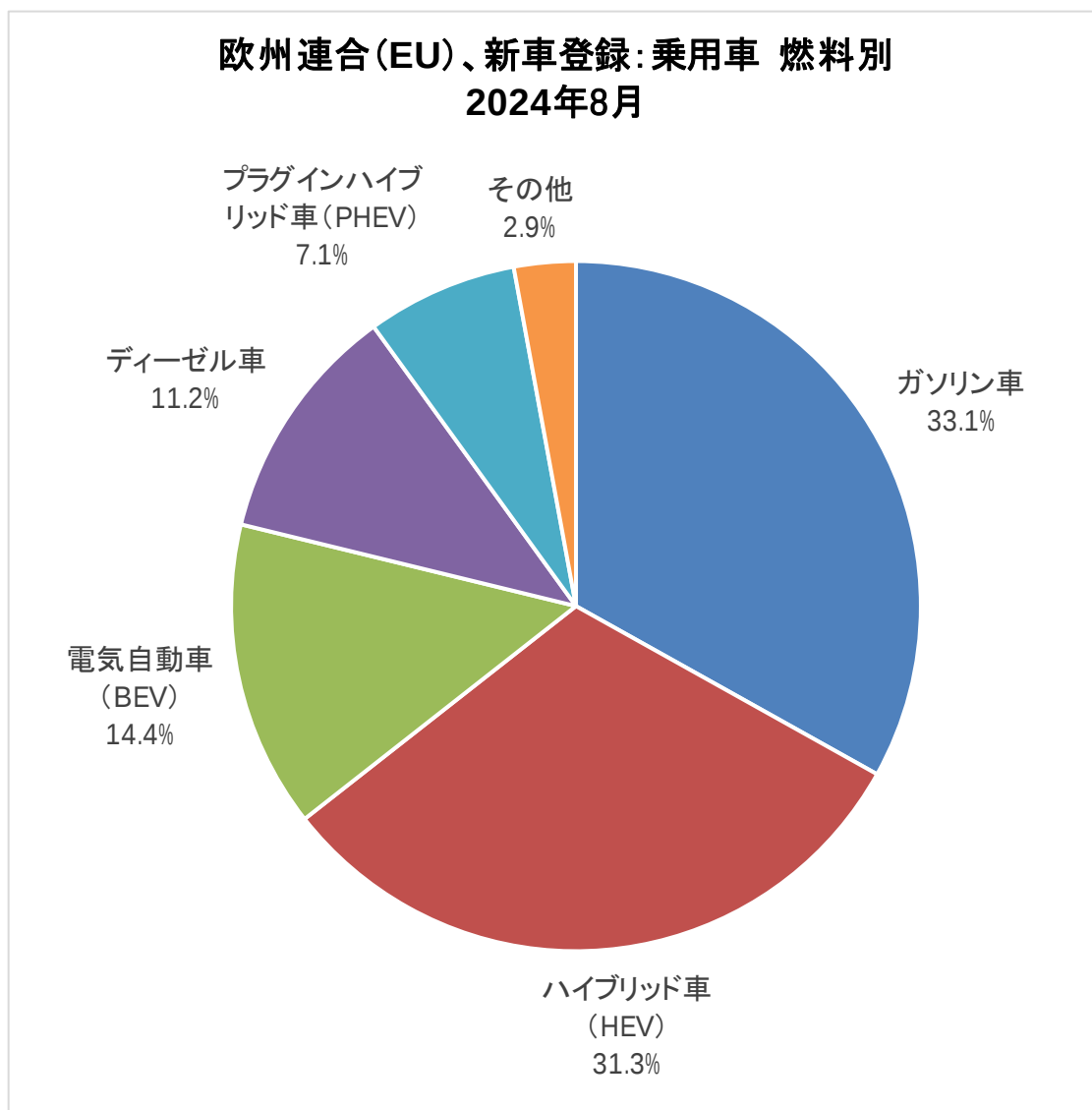
プロジェクトには、コーチを運行するトランスリンク、都市バスとコーチの両方の開発に携わるクィーンズ大学ベルファストも参加している。

英ビジネス・通商省は、低炭素技術の研究開発を支援する非営利組織「先進推進技術センター（APC）」を通して、当該プロジェクトに資金支援している。

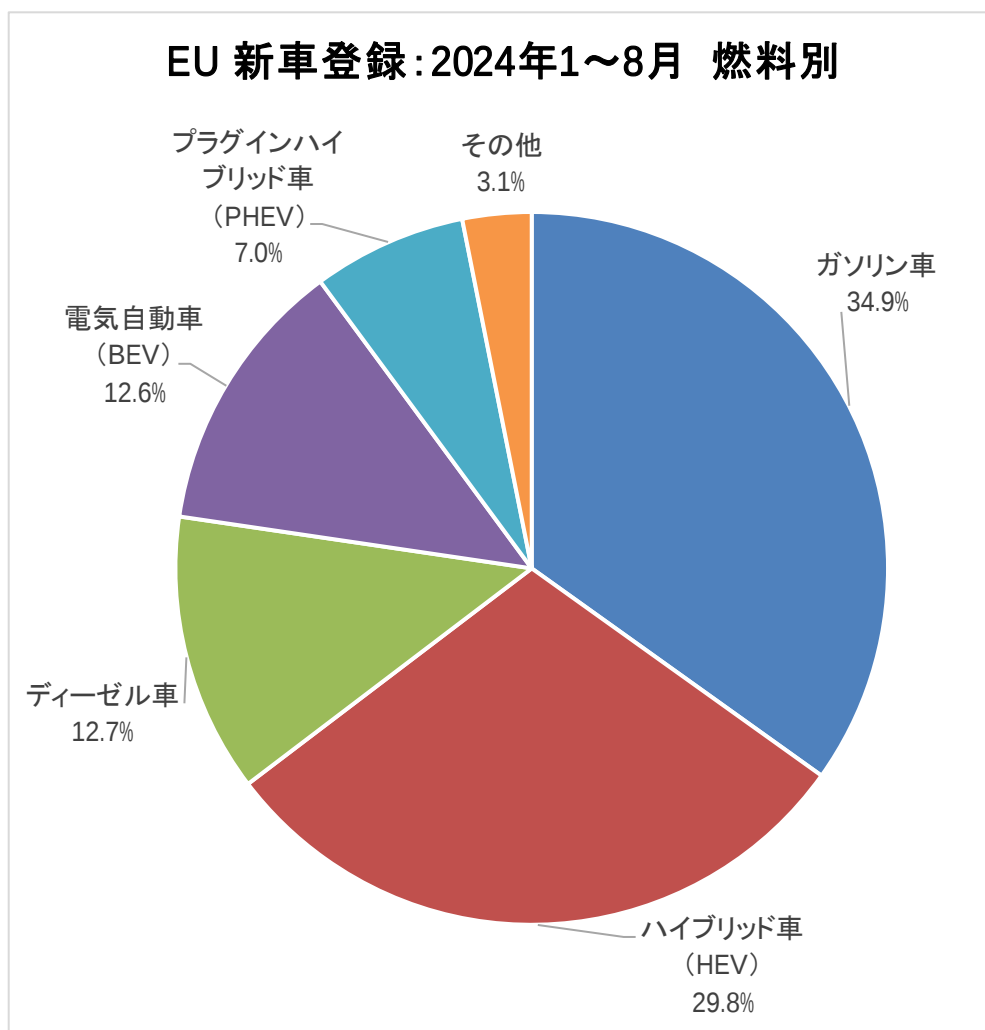
<AI22242>

目で見える欧州自動車産業ニュース

欧州連合(EU)、乗用車新車登録: 2024年8月 燃料別



出所: 各国自工会; ACEA



出所: 各国自工会; ACEA

<AI22243>

FBCのショートリスト調査は

- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します



このデータをもとに**即営業を開始**できます